

クロオビツツハムシ神戸市内に産す

(兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 5 7)

高 橋 寿 郎

クロオビツツハムシ *Physomaragdinia nigrifrons* (Hope) は兵庫県下での記録は大変少く筆者は本誌 Vol. 16, No.2 にて相生市三濃山、龍野市神岡町、飾磨郡夢前町我孫子の3ヶ所が知られているだけであるむね報告しておいた。いわゆる真夏のハムシであり猛暑の中での調査をやっていないものだからその後の記録も見られないし新しい産地の報告も無いようである。1990年7月26日蜂谷幸雄氏は神戸市須磨区多井畑のススキの葉上から1頭を採集された(標本筆者保管)。このあたりにもいると云うことは可成り広く県下の海岸線ぞいには分布している種ではないかと思うのだが何分にも調査が思うように出来ていない。注意して頂きたいハムシである。

(訂正) 本誌Vol. 17, No.2 に記録したアラメクビボソトビハムシ *Pseudliprus nigrinus* (Jacoby) はその後大野正男教授から注意を受け再度調べて見た所これ等はクビボソトビハムシ *P. hirtus* (Baly) の全体黒色のものであったので此処に訂正させて頂く。

県関係機関誌・連絡誌

(1 9 9 0 ・ X — 1 9 9 1 ・ III)

； 混蟲ずかん (但馬むしの会連絡誌)

No.26 (1990・Ⅸ)。No.27 (1990・ⅩⅡ)。No.28 (1991・Ⅱ)。

の せ (大阪昆虫同好会連絡誌)

Vol. 19, No.9, 10, 11, 12 (1990・Ⅸ～ⅩⅡ)。Vol. 20, No.1 (1991・Ⅰ)。

Crude (大阪昆虫同好会々誌)

No.34 (1990・ⅩⅡ)。

自然とともに (県環境管理課・自然保護係)